

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 8 - 12	(新規事業)
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業	
細要素事業名	山田地区都市再生区画整理隣接地消防水利施設（防火水槽）整備事業	
全体事業費	7,500（千円）	

【事業概要及び東日本大震災の被害との関係】

東北地方太平洋沖地震・大津波により甚大な被害を受けた山田地区では、防災集団移転促進事業、土地区画整理事業及び災害復興公営住宅整備事業により宅地と住まいの整備を行っている。この中で、区画整理事業による嵩上げ地においては、面整備と一体的に消防水利施設（消火栓、防火水槽）の整備を行っているが、同地区八幡町区域は民間宅地が大部分を占めているため防火水槽を設置することができず、給水が停止した際の消防水利の確保において大きな空白域が生じている。

このことから本事業では、山田地区の区画整理事業隣接地に防火水槽を整備することで、同地区における防災機能を強化するものである。

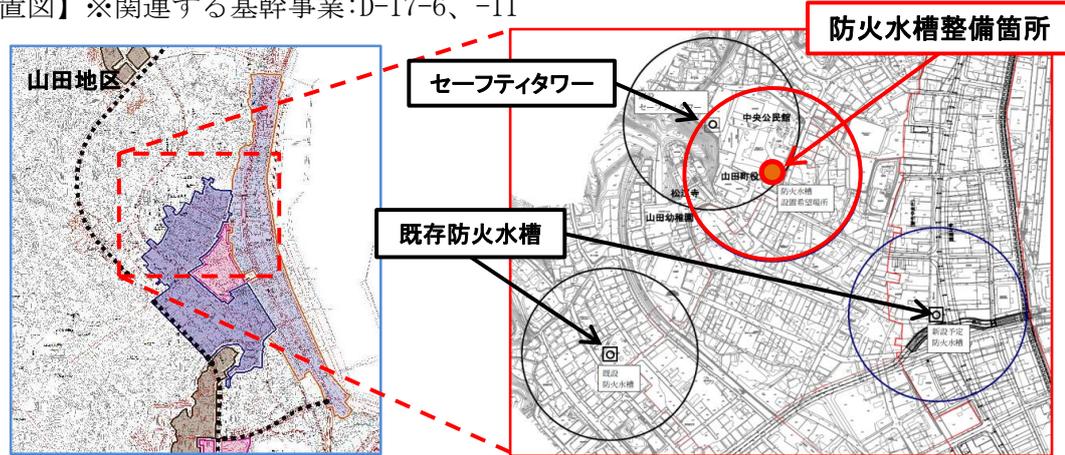
【基幹事業との関連性】

本事業は、復興事業により整備された宅地における給水停止時の消防水利を確保するものであり、区画整理事業地内における防災機能を強化するものである。

【当面の事業概要】

事業年度	事業内容	事業費	備考
平成30年度	本工事費	7,500千円	
事業費合計		7,500千円	

【事業位置図】 ※関連する基幹事業：D-17-6、-11



※セーフティタワーについては、大規模災害時は飲料水の使用が優先となる。

【参考】

区分	事業費	内 訳	回答日
提出済額			
今回提出額	7,500千円	平成30年度事業費	
合 計	7,500千円		

※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 14 - 1	(前回提出：平成29年9月1日)
要綱上の事業名称	(19) 被災者へのコミュニティ活動支援事業	
細要素事業名	織笠地区集会施設整備事業	
全体事業費	202,725 (千円)	(前回提出時 201,737千円 : 988千円 の増)

※工事監理委託料の再精査に伴う全体事業費の増

【事業概要及び東日本大震災の被害との関係】

東日本大震災により甚大な被害を受けた織笠地区では、防災集団移転促進事業、土地区画整理事業及び災害復興公営住宅整備事業による宅地と住まいの整備が完了した。同地区の町並みは、これら高台団地や嵩上げ工事などにより震災前と比較し大きく変化しており、この中で新たなコミュニティの形成やその活動支援が大きな課題となっている。

このことから本事業では、新たな町並みが形成された織笠地区におけるコミュニティ活動を支援するため、地域活動の中心となる集会施設を整備するものである。

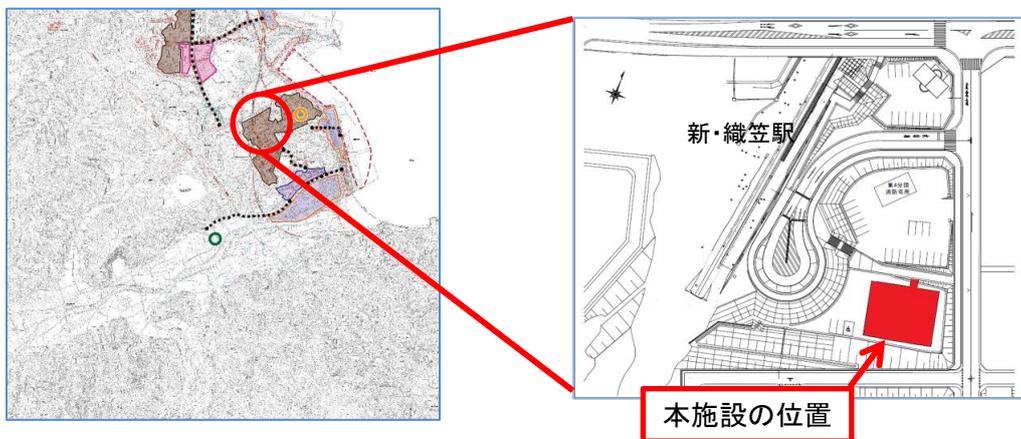
【基幹事業との関連性】

本事業は、織笠地区防災集団移転促進事業、織笠地区都市再生区画整理事業及び災害公営住宅事業により整備された宅地・災害公営住宅に居住・入居する住民間のみならず、既存宅地住民を含めた円滑なコミュニティ形成及び活動機会を醸成するものであり、基幹事業の効果を促進するものである。

【当面の事業概要】

事業年度	事業内容	事業費	備考
平成29年度	設計業務	19,343千円	織笠地区集会施設（鉄骨平屋建て、延床面積451.50㎡）
平成30年度	工事監理、本工事	183,382千円	
事業費合計		202,725千円	

【事業位置図】 ※関連する基幹事業：D-23-6、D-17-7、D-4-12



【参考】

区分	事業費	内訳	回答日
提出済額	19,343千円	平成29年度事業費（地質調査業務、設計業務）	H29.9.1
今回提出額	183,382千円	平成30年度事業費（工事監理、本工事）	
合計	202,725千円		

※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
 ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
 ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。